

令和6年度 金谷小学校グランドデザイン



学校教育目標『やさしい子 つよい子 かがやく子』

重点目標 (2年次)
「感謝の思いをもち よく考え 行動しようとする子」
 ~ 自分のために みんなのために ~
 子供たちに育みたい資質・能力 (感謝・自己決定・自己有用感)



クラスごとめざす子供像
 に向けて行うことを子供
 たちと話し合い決定する
 (4月)

学学アンケート3
 クラスごとの成果と課題について
 確認し、さらによくするための方
 法を考え決定する (2月)

教職員による児童評価分析
 願う子供像の成果と課題集約
 (12月)

子供たちの声を基に学校・
 学年全体として取り組む内
 容・方法を検討、決定する
 (12月)

めざす子供像 (学校評価指標)

めざす具体的な子供像		A 評価目標値 ()はAB合計	担 当
1	授業中、自分の必要感 (やってみよう・なぜか分からない・他の意見を聞いてみたい・自信がない・伝えたい等) をもって、相談 (聴いたり・話したり) することができる。	50% (90%)	学 び づ く り 部
2	《前期》 単元の中で自分がめざす目的 (ゴール) に向かうために必要な学び方を知ることができる。 《後期》 単元の中で自分がめざす目的 (ゴール) に向かうために必要な学び方を選択することができる。	40% (80%)	
3	振り返りの場面では、自分の変容 (深まり・広がり) や疑問を友達の名前を入れて書いたり、自分の学び方を評価したりすることで次時の見通し (内容・方法等) をもつことができる。	40% (80%)	
4	《低学年》 学年・学校行事に向け、友達と協力し進んで活動したり、振り返ったりすることができる。 《高学年》 学年・学校行事に向け、自分の思いをもって活動に取り組んだり、振り返ったりすることができる。	40% (80%)	絆 づ く り 部
5	「かなやっこ5つの力」の中から自分達の学年・学級で取り組む項目や内容について進んで話し合ったり、それに向け、努力したりすることができる。	45% (85%)	
6	「学学アンケート」の結果から自分達の学年・学級が更に良くなるための方法を話し合ったり、それに向け、努力したりすることができる。	45% (85%)	
7	行事の振り返りや「勇気づけ」で、自分がうれしかったこと・ありがたかったことや友達の良さ・頑張りなどを相手に伝えることができる。(カード、タブレット、直接伝える等)	50% (90%)	

学学アンケート2
 クラスごとの成果と課題について
 確認し、さらによくするための方
 法を考え決定する (11月)

教職員による児童評価分析
 学校全体と個々の両面から願う子供像
 の成果と課題の分析 (8月)

子供たちの声を基に学校・
 学年全体として取り組む内
 容・方法を検討、決定する
 (7月)

保護者、地域との連携・協働
 学校運営協議会を中心に、学校がめざす資質・能力を説明
 する中で、重点目標やめざす子供像に向けた取組を評価して
 いただきながらも、地域・保護者が主体になり、できること
 を積極的に提案・実践してもらおうをお願いしていく。



金谷小学校の全職員が大切にしたい姿勢

- めざす子供像 (学校評価指標) 達成に向けた教育活動の最優先化**
- 全ての教育活動を『はじめに子どもありき』の理念の周知**
 職員がしてあげたい活動よりも子供の心に寄り添い、思いを汲み取りながら、その行動の理由を共感することを基本とする。
- 心理的な安全性の高い職場づくり**
 職員一人一人が互いの良さを認めながら、自分にできる誰かのためになることを少しずつ積み重ねていく。また、お互いの環境に配慮しながら温かな関わりを大切にしていく。
- 公私のバランスを意識した働き改革の推進**
 仕事と自己研鑽・家庭での役割のバランスを意識し、めざす子供像達成に向けた活動に重点を置き、業務の軽重を自分自身で図る。

